

奨学生採用願（記入例）

×受付番号 大・専・高 第 号	×判定	×決定番号 大・専・高 第 号					
フリガナ オナガワ タロウ	本 籍 女川町女川二丁目2番地1						
氏 名 女川 太郎	本人現住所 女川町 女川一丁目1番地1						
生年月日 平成〇〇年 〇月 〇日生	※ 持家 ・ 借家 ・ 社宅 ・ その他 () 電話 (0225-53-xxxx) 昼間の連絡先 (090-9876-xxxx)						
※ 男 ・ 女 (満 18 歳)	保護者又は親権者現住所 女川町 女川一丁目1番地1						
在学学校又は出身校 宮城県 立 〇〇高等学校	※ 大学 普通 部 第 3 学年	× × 年 3 月 ※ 卒業見込み ・ 卒業					
世帯員の状況	続柄	氏 名	年齢	職 業	勤 務 先	年 収	父又は母がいないとき
	父	女川 父男	32	会社員	女川商事	1000 千円	※死亡・その他 ()
	母	女川 母子	30				その年 (年)
	本人	女川 太郎	18	学生			就学者の在学学校名 学年
	祖母	女川 祖母	88				
	姉	女川 姉子	20	学生			宮城大学 2
※女川町役場町民生活課で発行する住民票謄本を添付すること							
※女川町役場税務課で発行する所得証明書を添付すること							
収入の状況	給 与 所 得	※商・工・林・水産業所得	農 業 所 得	その他・職種 ()			
	年収 1000 千円 賞与・諸手当等を含む。 給与所得控除後の金額を記入のこと。	営業種目 () 売上高 千円 営業支出 千円 年 収 千円	年収 千円 自家消費分含む。 田 a 耕作面積 畑 a 山林等面積 a	年収 千円 ※ 報酬・原稿料・地代 家賃・利子・恩給・年金 扶助料・その他 ()			
他の奨学金を受けて	受けている場合 奨学会等の名称		採用された場合の貸与希望金額	月額 50,000 円			
※いる・ いない	期間 年 月から 年 月まで	※ 給与・貸与 年額 千円					
この奨学金を受けて就学を志望する学校	※ 国立 〇〇大学 〇〇学 部 ※ 昼間部 ・ 夜間部 学 校 科 ※ 全日制 ・ 定時制						

記入の注意 ×印のところは記入しないこと。 ※印のところは該当するものを○でかこむこと。
年収は、出願前1年間の収入（税込み）を家族全員について記入のこと。（千円未満は切捨て）

健康診断	既往症（主として結核症） 病名 () 発病 年 月 ・ 全治 最終「ツ」反応※ + ・ ± ・ 最終BCG 「ツ」陽性転化	X線検査 年 月 ※ 透視・間接・直接 見
	就学可否の判定	※ 可 ・ 注意 ・ 不可 年 月 日 医師 ⑩
貸与希望の理由	（保護者又は親権者記入欄） ※医師による就学可否の判定及び署名捺印が必要	
	奨学金貸与希望の理由など	
	（本人記入欄） 奨学金貸与希望の理由、将来の夢など	
本人の履歴	中学校卒業後の学歴、自宅研修及び職歴等出願時まで空白期間のないよう記入のこと。	
	平成〇〇年 〇月 女川町立 女川 小学校卒業	年 月
	平成△△年 △月 女川町立 女川 中学校※ 卒業見込	年 月
障害者関係事項	障害者氏名	※ 身体障害 ・ 公害疾病 ・ 心神喪失 ・ 知的障害 長期就床（状況）
	続柄	手帳番号
連帯保証人関係事項	本人と連帯して奨学金返済の責任を負う者であること。	
	本 籍	続柄
	現住所	職業
月平均所要学費	家庭から	食費
	アルバイトから	住居費
	本会以外の奨学金から	交際費
その他	書籍学用品費	授業料
計	計	学校寄付金
		その他
		計
以上のおとり記載事項に相違ありません。 女川町の奨学生として採用されるようお願いいたします。採用のうえは、奨学生としての責任をはたすことはもとより、奨学金の返還についても誠実にその義務を履行します。 上記のおとり保護者（親権者）及び連帯保証人と連署して誓約します。 ※本人直筆の署名をお願いします		
△△年 △月 △日	本人氏名 女川 太郎 ⑩	
女川町長 須田 善明 様	保護者又は親権者氏名 女川 父男 ⑩	
	連帯保証人氏名 宮城 一郎 ⑩	

※印鑑登録された印があればそれを押印ください